

Governor's Monthly Letter To Club Presidents and Secretaries

Rotary International District 2550



2006～2007年度
国際ロータリーのテーマ

率先しよう

RI会長 ウィリアム B. ボイド
ガバナー 落合雅雄



小江戸とちぎ蔵の街を運行する「蔵の街遊覧箱」(栃木市)

CONTENTS

- p.1 落合ガバナーメッセージ
- p.4 「地区チーム研修セミナー」開催にあたって
- p.5 会長エレクト研修セミナー報告
- p.6 第8回高校生ライラセミナー報告書
- p.7 物故者追悼例会
- p.8 WCSに参加したインターアクター奮闘記-④
- p.9 IM開催報告
- p.10 国際ロータリー2007年規定審議会
- p.12 ガバナーノミニー・物故会員
- p.13 第2550地区新入会員
- p.14 地区主要行事予定/文庫通信
- p.15 2007年3月第2550地区会員増強、出席報告

今月のロータリーレート
1\$ = 118円

2007.5
No.11



国際ロータリー第2550地区ガバナー事務所

〒328-0042 栃木県栃木市沼和田町12-15 平和ハイツ2F
TEL 0282-20-2020 FAX 0282-20-2025
E-mail:m2550@agate.plala.or.jp



垣間見る2550地区の年輪

国際ロータリー第2550地区
2006～2007年度ガバナー

落合 雅雄
(栃木西RC)

宇都宮RCは、日米講和条約が調印され（49ヶ国が署名）わが国が被占領から独立国家となる1951年（昭和26年）、東京、神戸両RCをスポンサーに栃木県最初のロータリークラブとして（24名の会員で）創立されました。この時は、日本全国を1地区とし国際ロータリー第60地区でした。翌52年には東西2地区に分割され、55年に4地区となり（ずーと第60地区でした）、61年新潟、群馬、栃木、茨城の4県で第355地区、70年に栃木、茨城で第255地区、92年栃木県単独の第2550地区となって現在に至っています。（茨城県は第2820地区となりました）

宇都宮クラブ創立時は、敗戦からの復興に向かって国民が懸命に汗をかいていた時で、黒沢明の「羅生門」がベネチア国際映画祭でグランプリを獲得し、軍需品だったボールベアリングを再利用したパチンコや女剣劇がブームを迎えて、街に活気が張りつゝありました。私が旧制中学から新制高校の6年間を終えて大学に進学した年です。食事は外食券食堂で摂りました。翌27年は、日劇ミュージックホールが開場、「人間はロボットを作っても、ちょうど異文化や異民族差別感を持つと同様に、ロボットを差別するだろう。アトムのもチーフもそこにあった」といった手塚治虫の鉄腕アトム（16年連載となる）が発表される一方で、戦争の悲劇をテーマにしたラブストーリー、忘却とは忘れ去ることなりの「君の名」が日本中を夢中にしました。白井義男が世界フライ級の王座を獲得。しかし悲劇もありました。もく星号が三原山に墜落、皇居前広場における血のメーデー、売血も盛んになった年です。

この年（1952年）、宇都宮RCは東京、東京南、東京北RCと共にスポンサーとして足利RCを設立しました。力道山のプロレス国際試合が、占領による劣等感を抱いていた日本人の敗戦コンプレックスを吹き飛ばし、勇気づけると同時にTVブームを巻き起こした昭和29年（1954年）に栃木RCの設立をスポンサーしています。

その後、宇都宮RCは、1959年（昭和34年）真岡、日光、小山、烏山、60年今市、大田原、黒磯、宇都宮東、61年宇都宮西、63年氏家、85年（昭和60年）宇都宮北と11クラブの設立のスポンサーとなっています。また、地区ガバナーも金谷正夫、滝沢信二、坂本守、宮崎柏と2007～2008年度の近藤隆亮の5名を輩出した名実ともに当地区の盟主です。これより先、1920年（大正9年）東京RCは、わが国最初の世界で855番目のロータリークラブとして発足します。1922年（大正11年）に大阪、24年神戸、名古屋、25年京都、27年（昭和2年）横浜、日

本の支配下にあった京城、大連（28年）、奉天（29年）、ハルピン（30年）、そして台北（31年）にも設立され1940年（昭和15年）には、わが国のロータリーは48クラブ2000名の会員を擁するに至りました。

その間、1926年に米山梅吉はR I 理事に任命され、28年には日本地域が第70地区として認められ、その初代ガバナーに米山梅吉が就任（3期連続）しました。しかし、あの悪夢のような太平洋戦争は、日本のロータリーをR I から脱退させます。1949年（昭和24年）東京、大阪をはじめ7クラブがR I 復帰を認められて、以来目覚ましい発展が2000年を過ぎる頃まで続いたことは周知のとおりです。

わが国のロータリーの歴史において、戦前の地区大会では、今みても高度な水準に達した論議（奉仕の理想の分析やロータリーの標語の解釈などについて）が戦わされたそうです。用語の邦訳とアメリカ直輸入的な風習からの脱却を図って、日本に合ったロータリー運動の実践を試みて行うとする提案がなされ、日本的に消化された思想の普及が行われると同時に、儒教倫理や二宮尊徳の思想と「奉仕の思想」との相関関係が討議されるなど、この時に培われた精神は、1965年頃まで戦後全国各地に設立されたクラブの中核になっていて、ロータリアンの知性の深遠さが保たれていたようです。そのため極度に厳格な「限定会員制度」が採られ、会員は高度の知性をもった選良であるべきで、常にロータリアンの質が主題となっていたようでした。今日でも当時からの会員の多くは、ロータリアンとしての誇りを堅持されているようです。一方、1933年若い有望人の入会が求められ「量より質」が今とは違った意味で出てきます。その後、この「量」の問題は、様々な形で議論が続けられていることは周知のとおりです。

1. 事業人たる前に道義の人たるべし。事業経営に全力を尽くすのは世を益するため、道義なき事業の成功を得ようとする者に与せず。
2. 事をなすには、まず義務を履行するべく奉仕を実践することを心がける。利己より利他を先に。最も良く奉仕する者最も多く報われることを疑わず。
3. 商道徳を無視して巨利を貪ることは、最も忌み嫌うことで、利のために義を欠くは信用を失する。
4. 義と信を絆として、ともに助け合い、利潤を得ることがロータリーの本旨であるが、クラブ内外に差別することがあってはならない。
5. 徒に争うことはせず、博愛平等の理想のために活動することが、ロータリーの使命であり存在する意義がある。

これは1936年ロータリー綱領を日本風に表現した大連クラブのロータリー宣言で、宇都宮陽北RCが採り上げています。

昭和21年4月米山梅吉が逝去、翌22年1月にはポール・ハリスがこの世を去って世代の交代時期がやってきました。23年（1948年）国際ロータリーに復帰が認められた日本は、クラブの新設が相次ぎ1995年現在の34地区になるまでに至りました。

当地区も最盛期には、51クラブ2,000名を超す会員を擁しましたが、只今は50クラブで会員数も2,000名を割っており、純増1名の地区目標もいま一步の努力が望まれるところです。

地区二番目の足利RCは、創立の翌年（1953年3月）に東京RCと共同で桐生RCを設立し、54年5月には宇都宮RCと共に栃木RCを、その後太田（57年）、館林（58年）、足利東（61年）そして足利西（64年）と計6クラブのスポンサーを続け、小野康平（63年）、瓜生英二（77年）、深沢豊吉（93年）と3名の地区ガバナーを輩出した宇都宮RCに次ぐ名門クラブです。

栃木RCのアデショナルクラブは、佐野（59年）、鹿沼（60年）、栃木西（64年）、および壬生（80年）の4クラブで、輩出ガバナーは73年小林英一、2001年田村春夫の2名です。

上記の3クラブは、いずれも戦後生まれであるが創立50年を超えた地区内最古参の伝統クラブです。しかし百年のロータリーの歴史からすると、その1/2に過ぎません。今でも創生期のまゝ女性会員が申し合わせたように不在です。何事でも後続クラブの模範であり、率先垂範が求められます。夫々ロータリーの奉仕活動は手堅く実践されているようです。

地区が早くから関わってきた社会奉仕、新世代奉仕、国際奉仕、R財団、R米山奨学会、そして職業奉仕のプログラムは、50のクラブによって各々のクラブ独自の方針に基づいた試みがなされ、年度末にはクラブをそして会員夫々の自画像が描かれ、完成されることが期待されます。

ひたすら拡大発展を続けてきたロータリーにも近年翳りが見えてきて、その対策として様々な変革が制度上も組織構成上でも必要となりました。当地区も例外ではありません。そのようなときCLPは、クラブの活性化のために登場しました。従来クラブ細則を固執することなく、クラブの実情と目標に相応する委員会構成を奨励し、ロータリーの活動力の向上を図ろうとするものです。当地区において、今年度初めてCLPを率先して採択した26のクラブが、その実施について試行錯誤を続け、努力されたことについて敬意を表する次第です。

戦後派クラブ集団の当地区でも、板橋敏雄PDG（足利東RC）は、国際ロータリーにおいて国際会議のSAAからRI理事を務められて、その後も引き続いてRIの要職を歴任、今年度はウイルキンソンRI会長エレクトの諮問委員に就任されました。当地区の代表として認知度抜群であり、その功績は昨年「超我の奉仕賞」として讃えられており、今回の地区大会では、おそらく前代未聞だろうと思いますが、RI会長代理として出席されるエド・フタRI事務総長のエイドを買って出て頂きました。将に当地区の誇りです。

2世紀に入ったロータリーでは、1/2の半世紀は短いですが、それなりの年輪が実に多くの先人によって重ねられてきました。この先輩達が嘗々辛苦を重ねて築き上げて来られた第2550地区のロータリークラブ全てに貴重なスピリットがある筈です。私達は、これを継承し発展させていく責務があります。今年度で終わりではなく次年度に継続して年輪を重ねて行こうではありませんか。

参考文献：小堀憲助 ロータリークラブ —その理論と実態と批判—



「地区チーム研修セミナー」開催にあたって

宇都宮RC幹事

石島 洋

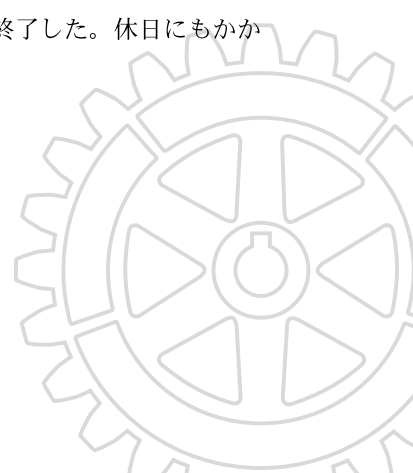
平成19年3月11日（日）作新学院大学清原キャンパスにおいて、地区チーム研修セミナーが開催された。朝から雨模様の天気。

ここ作新学院大学は宇都宮市竹下町清原工業団地の一角にあり、平成元年の開学以来4年制3学部と短期大学部、大学院を擁する。学生用駐車場約350台ほか、池の中に浮かぶ明るい学生食堂や600人収容の多目的ホールとロータリークラブの研修会場にはこれ以上の施設はないと確信している。新4号国道からも近く、県南からは上三川IC、県北からは宇都宮ICより宮環を通れば思いのほか近い。昼食は、学生食堂にてカフェテリア方式のロータリー特製ランチを用意した。あたたかいスープとご飯は、なかなか好評であった。わが宇都宮RCのメンバーでもある作新学院大学の諸富学長、作新学院高等学校の上野校長の両氏にはこの場をお借りして、深く感謝したい。

裏方の苦勞話を続ければ、作新学院大学の場所を正確に案内するため捨て看板30枚、看板を持ったガードマン10名をポイントに配置した。今までは、ボーイスカウトの協力を仰いでいたようだが、交通量と排気ガスの多い道路沿いに立たせて、事故があったら大変との理由で、今回ガードマンを利用した。看板も目立つように配置したが、清原工業団地からは道路が広くて交差点が大きいと、わかりにくいとのご意見が多かった。

次期ガバナーを輩出するにあたり、3回の研修会すべてこの作新学院大学を利用させていただいた。ほとんどの人がこの大学を訪れるのは始めてであり、作新学院大学としては絶好のPRにもなった。分科会場の第3研究棟は女子短大の校舎で、普段は入れない「女の園」であることも付記しておく。ホスト役を務めた宇都宮RCのメンバーにも、寒い朝早くからいろいろとお手伝いいただいた。ガバナーを出すクラブは、実に変である。

さて、研修会の方は全体会場で近藤ガバナー・エレクトから、次年度のテーマ「ロータリー・シェアーズ」の解説があり、その後分科会場にて、各委員会ごとにカウンセラーと打合せ・協議を行った。この会が近藤GVR年度の最初の顔合わせであり、DLPに則った2年目の年度となる。CLPを採用したクラブが多くなり、各クラブの組織改革も進んでいるようである。近藤GVR年度の実質的なスタートは大きなミスもなく、無事終了した。休日にもかかわらず、遠方から参加されたロータリアンの皆様、お手伝いの皆様に再度、感謝したい。





2007～2008年度 会長エレクト研修セミナー（PETS）報告

ホストクラブ実行委員長

矢 嶋 昭 司

（宇都宮RC）

去る3月25日（日）恒例の会長エレクト研修セミナーが会長エレクト50名地区役員関係38名の出席のもと、宇都宮市東部清原工業団地に隣接する作新学院大学で開催された。

当日は冷たい雨の日曜日、早朝より準備する宇都宮クラブのメンバー、ご参集下さる会長エレクト、地区役員の方々には生憎の天候ではありましたが、花見には少し早いし、ゴルフへの未練もなく、春雨けむる大学キャンパスというセッティングは、この種の研修には絶好の日和であったと思う。そのお蔭もあって、午前10時の点鐘に始まり、スムーズに予定が進行した。落合雅雄ガバナー（栃木西RC）からRIの現況、わが国でのロータリアンの数の衰退傾向、各クラブのCLP採用による会長方針の徹底など今後の課題に言及され、PETSに寄せる要望を述べられた。



近藤隆亮ガバナーエレクト（宇都宮RC）からは米国サンチェゴで開かれたRI国際協議会に出席し、RI次期会長ウィルフリッドJ. ウィルキンソン氏（カナダオンタリオ州トレントンRC）から発表された2007～2008年度RIテーマ「Rotary Shares（ロータリーは分かちあいの心）」。並びにRI会長の強調事項についての報告及び説明がなされた。

第2550地区2007～2008年度の活動目標として近藤次期ガバナーは、RIテーマ及び次期財団管理委員長ビチャイ・ラタクル氏が演説の中で強調した「倫理と道徳の高揚」を取上げ、ロータリー活動における「リーダーシップと倫理観」について触れ、各クラブの会長はこれらを指針として、独自の目標を設定し、会長のリーダーシップを発揮され各クラブの自主的な活動に期待したいと述べられ、次の活動目標を挙げ、協力を要請した。

①クラブの活性化 ②RI常設プログラムへの各クラブの参加推進 ③ロータリー財団活動 ④米山記念奨学会活動への参加、支援。

続いて、地区研修リーダーの佐野バスターガバナーより「クラブ会長の役割と責務、クラブ運営について」。板橋元RI理事、2007～2008会員増強退会防止委員より「会員増強について」の解説のあと、各委員長より地区活動方針の説明で午前中の研修を終了した。

午後は、次期ガバナー補佐のリーダーによるグループ別討議が行われ、各グループの発表報告、全体討論、質疑により活発な意見の交換が行われた。地区活性化担当カウンセラー村上バスターガバナーの講評で予定スケジュールを終了した。

ホストクラブ実行委員会として本会場を閉校日にも拘わらず開校し、格別のご配慮をいただき、無事本研修会が終了できました事を作新学院大学諸富学長及び作新学院高校上野校長（共に宇都宮RC会員）に対し、本紙面を借りて、厚く御礼申し上げます。



第8回高校生ライラセミナー報告書

第8回高校生ライラセミナー
実行委員長

神山 宜久

(小山南RC)



年度末の多忙な時期では有りましたが、第8回高校生ライラセミナーを開催することが出来ました。資金を提供してくれた全てのロータリアンの皆さん、参加者を派遣してくれたロータリークラブ各位、ライラに思いを寄せてくれた皆さん……本当にありがとうございました。また今回も、ローターアクターの皆さんが実行委員として参加してくれました。今年度の“愛と感動のライラ”がここに終結したことをご報告いたします。

開催日は3月24日から25日の2日間、会場はウェルサンピア栃木、講師は栃木県教育研究所の丸山隆先生でした。特筆すべきことは、副講師の神山享子さんが本格的にデビューしました。参加者は上の写真をご覧ください。あなたが見た事のある顔が映っていませんか？集合したての撮影なので皆さん硬い表情をしておいでです。これがどんな顔に変わったかは、感想文集末尾の写真集と比較してみてください。

セミナーは開講式終了直後、丸山先生の指導の下、セッションが始まりました。自分が相手を受け入れる事の出来る距離を実感することに始まり、握手ゲームやジャンケンゲーム、グループ作りゲーム等を通して一気にその距離がちじまる感覚を覚えました。一週間でセミナーをやっているとこの大勢が皆家族になってしまうのではと勘違いしてしまいます。相手を個人として受け入れることが出来る様になり、いつの間にか自分をもさらけ出し、恰も旧知の仲でいたかのような錯覚に陥るのが自然の流れでした。未知なる自分を見つけて自分探しのたびに出ようと思った人もいますし、他人に何かを働きかけることの充実感を覚えたり、他人と理解し合うことがこんなにも簡単だったかと実感した人もいます。各人の心の変化は感想文を読んで涙み取ってください。

このセミナーが今後益々発展して、多くのリーダーシップを身に付けた青年たちが社会に出て活躍する姿を夢に見ると共に、全てのロータリーが青少年たちと一体になって盛り上げられる様、全てのロータリアンの結集を願って止みません。



夏の風物詩 物故者追悼例会

大田原RC会長

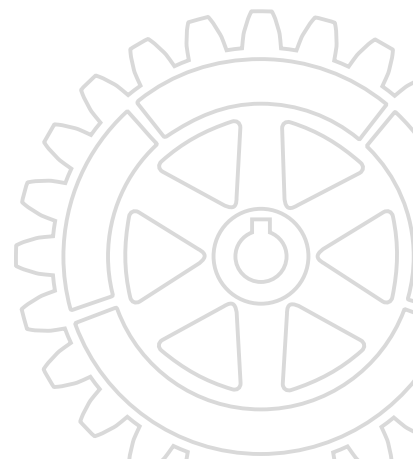
橋本 憲 一

我がクラブの例会の中で会員にとって特に印象深いもの、大切なものの1つに物故者追悼例会があります。毎年真夏の昼下がり、お盆の前の例会を物故者追悼例会として、会員が住職をしている曹洞宗光真寺にて追悼法要を行っているのです。境内に響く蝉の声、にわか雨にみまわれ駆け込んだことなどが思い出されます。

今年度は8月10日（木）に持たれました。会員には我がクラブ創立以来亡くなられた70名の物故者名簿が手渡され、午後零時半より本堂にて、黒田俊雄住職、ご子息の泰弘和尚、それに同じく会員の中井本秀正法寺住職の先導で法要が始まりました。黒田住職は物故者一人一人の名前を読み上げます。ベテラン会員はすべての生前の故人を知っています。現会員の親の名前があります。入会后間もない会員は最近の物故者しか知りません。歴史を感じる瞬間です。会員それぞれがともに活動した在りし日の故人を偲びます。午後1時より隣接した大広間にて例会が開始されます。会食後、ベテラン会員による追悼卓話があります。今年度は吉岡精一会員により追悼例会の歴史、約30年前入会当時の活気ある例会の雰囲気、会員のエピソードなどが披露されました。

追悼例会は創立当初からあったわけではなく、28年前、1978年から始まったようです。当初は例会場で卓話者が思い出を語る形式でしたが、13年前より黒田会員のご好意により光真寺で行う現在の形式になったとのことです。

今年度は大田原RC創立46周年に当たり、追悼例会は会員にとって毎年行われる周年行事とも言えます。追悼例会は歴史ある大田原RCを生前支えた故人を偲びながら、故人に感謝し、来し方を静かに顧みる会であり、また、遺志を引き継いだ現役会員がこれからのロータリー活動への誓いを新たにする場にもなっております。





奉仕に汗を、情熱を、 そして未来に希望を！！

－WCSに参加したインターアクト奮闘記－④

インターアクト委員会委員長

岡川 光 佑

(宇都宮西RC)

先を急ごう。このペースでは落合年度中に終わらない。

三日目は、Magalang HAVEN への寄贈品の贈呈と文化交流及び折り紙指導である。

HAVEN とはパンプン州少女更正施設であって、性的虐待を受けた少女たちを保護し少女たちの社会復帰を支援する施設である。未成年であると思われるような少女が多分、自分の子である赤ちゃんの世話をしている姿を見ると、施設の必要性を痛感する。



HAVENにおいてパーランク（小太鼓）を用いて踊るインターアクト

施設で指導を受けて作ったクッキーや菓子パンを振舞われ、文化交流としてはフィリピンの民族舞踊の披露と日本からは高校生の十八番である沖縄と北海道の民謡が披露された。特に「折り紙」は日本独自の文化であるためか、大変興味をもたれたようである。

午後は“Mirai-Ni-Kibou 図書館（未来に希望図書館）”に向かった。ここでは大勢の小学生の生徒のお出迎え。門を入ると図書館までの200メートル位の道の両側に生徒が並び、歓迎の「日の丸の小旗」を振って迎えてくれる。小旗といっても手

作りであって、日の丸の大きさが皆違う。

フィリピンは2回目の訪問である。私の所属する宇都宮西RCと最北端にあるカガヤンデオロ市のベイエリアRCとのWCS事業でも同様の歓迎を受けた。日本ではオーバーと思えるほどの歓迎振りであると思われるが、これも文化の違いでもあり、感謝の気持ちを心から訴えていることなのであろう。

ここでも国際文化交流があり、両国の民族舞踊が披露されたが、相手は小学生であって可愛いのが売りである。その父母と思える人達がカメラやビデオでわが子を撮影しているのを見ると、どこの国の親も皆同じである。

小学生相手だけに折り紙の指導は人気がある。インターアクトだけでは手が足りず、ロータリアンも指導に当たったがむしろロータリアンの方が多くのことを知っているようだ。今の若い者とは違って小さい頃からの生活環境の違いとも言うべきか。逆にIT関係については弱いのであるが。



「未来に希望図書館」において 小学生による歓迎の踊り



IM開催報告

第1グループガバナー補佐

相馬 征志

(黒磯RC)

「ロータリアン大いに語る」をメイン・テーマとし、第1グループは2月12日(日)那須塩原市内 割烹石山を会場にグループ内7クラブの参加を得てIMを開催しました。

開会セレモニー(PM2:00~)に引き続きメイン・プログラムに移り、7クラブが「我がクラブの奉仕活動」「我がクラブの親睦活動」「ロータリーへの期待と失望」「趣味とロータリーについて」の4テーマから1つを選び、計1時間30分にわたり活動報告や意見の発表をし、締めくくりに半田久一



PGの講評を頂き、次期ガバナー補佐・加藤利勝氏及び次年度IM開催予定クラブ黒羽RC会長・大西広明氏の挨拶があり、午後4時閉会しました。

午後4時からは、会場を替え記念パーティーに移りました。「質素に・和やかに」を心掛けて計画されたため、アトラクションなどはなかったものの会員相互の談笑に費やす時間が充分にとれ、有意義なものとなりました。

グループ内7クラブの会員数は約220名で、その60%ちかくの会員が参加し開かれたこの年度のIMは、全体を通してまずまずの成果が得られたものと評価しております。



2007年規定審議会について

地区代表議員 P G

半田 久一

(黒磯RC)

国際ロータリーは、3年に1度の規定審議会を4月22日より27日にかけて、米国イリノイ州・シカゴ・マリOTT・ダウンタウンホテルを会場に、2007年規定審議会を開催します。

規定審議会によって、ロータリーは、国際ロータリー定款・細則および標準ロータリー・クラブ定款という我々の組織規定文書に大幅かつ慎重な修正を加える機会が与えられます。それと同時に、国際ロータリー理事会によって検討される重要な決議案や、将来の規定審議会のための提案を提出する機会が与えられます。審議会に提出される立法案は、ほぼすべてが、長期にわたる重大な影響を与えるものです。したがって、審議会の任務は、奉仕の機会、クラブ会員、国際ロータリーとその加盟クラブの財政といった事柄を充実させるための立法案を審議し、採択することです。

審議会は、4月22日(日曜日)午後3時半のオリエンテーションおよび開会式をもって開始されますこのセッションに続いて、審議会が召集され、事前審議が行われます。審議会は、4月27日(金曜日)午後6時に終了します。全代表議員は、審議会の会期を通じ、すべてに出席するものとされています。

この度の規定審議会には、地区提案として、3件の立法案が、2006年4月の大竹ガバナー年度の地区大会にて決議・承認されており、第1の提案は、会員の例会の前後14日以内にメイクアップをしなければならない。という日数を7日以内に改定する件・クラブ定款8条・第1節(a)制定案07-20(出席補填短縮)4地区共同提案です。第2の提案は、Eクラブを廃止することを検討するよう、RI理事会に要請する件。試験的プログラムとして、かなりの数のサイバークラブ(Eクラブ)が結成され、ロータリアンは、そのウェブサイト例会で30分間参加すればメイクアップすることが許されている。決議案07-36(Eクラブの廃止)2地区共同提案です。第3の提案は、RI第2の標語を改正することを検討するようRI理事会に要請する件。ロータリーの創立以来、2つの標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」および「超我の奉仕」が存在してきた。前者の標語は1911年に採択され、93年間使われてきた。2004年規定審議会にて、「He」という単語は男性のみを示すことを理由に、「He」が「They」に変更された。しかし、この標語は職業奉仕は、個人の行動力によって実践されるという哲学に基づいている。およそ一世紀の間使用された標語はその原形に戻ることが望ましい。よって、国際ロータリーの決議により、国際ロータリーの理事会は「They Profit Most Served Best(最もよく奉仕する者、最も多く報いられる)」「They」を「He/She」と改正することを検討することとする。決議案07-109(RI第2の標語)2地区共同提案です。以上が地区提案の立法案です。

尚、日本より提案の立法案は制定案10件、決議案7件の17件が受理され(別紙参照)、世界全体で357立法案を審議されることになっております。日本からの34名と世界168ヶ国530地区の多様性を理解し、忍耐、寛容、そしてユーモアのセンスと、協力の精神をもって出席してまいります。



国際ロータリー2007年規定審議会

2007年4月22日～27日 米国イリノイ州シカゴ 規定審議会代表議員 半田 久一

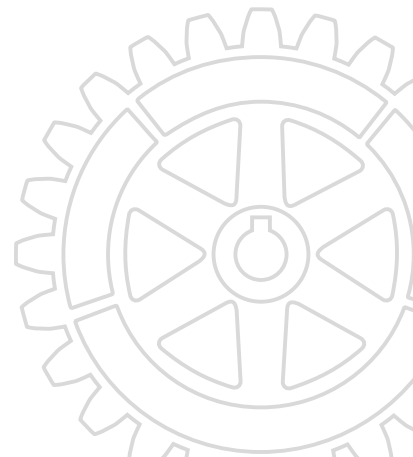
日本提案の受理された立法案 17件 (制定案10 決議案7) 合計357立法案

07-11	制	一般に認められている祝日にクラブ例会を取りやめる権限をクラブ理事会に与える件 (クラブ例会)	2640地区
07-20	制	会員の例会の前後14日以内にメイクアップをしなければならないという日数を、7日以内に改正する件 (出席)	2520・2550・ 2570・2770地区
07-22	制	30分間参加型のクラブのウェブサイト活動をすれば出席を認められるという規定を削除する件 (出席)	2570・2680・ 2800地区
07-25	制	クラブ理事会または奉仕委員会の会合への出席をもって例会出席を認める規定を削除する件 (出席)	2570地区
07-36	決	Eクラブを廃止することを検討するよう、R I 理事会に要請する件(クラブ運営)	2550・2700地区
07-45	制	会長ノミニートと会長エレクトの任期を明確にする件 (クラブ役員)	2770地区
07-54	決	会員の資格を強調することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (会員)	2680地区
07-89	決	ローターアクトの年齢制限を35歳にまで引き上げることが検討するよう、R I 理事会に要請する件 (常設プログラム)	2590地区
07-108	決	ロータリーの第二の標語、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」を、社会奉仕に関する1923年の声明に含めることを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (R I テーマと標語)	2680地区
07-109	決	R I の第二の標語を改正することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (R I テーマと標語)	2550・2700地区
07-163	決	理事会が審議会において地区とクラブの運営に関する事項を話し合うことを規定する立法案を次回の規定審議会に提案することを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (地区)	2640地区
07-316	決	規定審議会が採択された制定案が忠実に反映されるよう義務づけることを検討するよう、R I 理事会に要請する件 (規定審議会)	2680地区
07-323	制	理事の定義を改正する件	2620地区
07-331	制	会員身分の終結に関する職業分類の規定を改正する件	2620地区
07-341	制	R I 理事会が決定を直ちに発表すべきであることを規定する件	2680地区
07-345	制	R I の目的を改正する件	2650地区
07-357	制	採択された決議の審議結果を発表するようR I 理事会に義務付ける件	2650地区

制定案-R I 定款細則または標準ロータリー・クラブ定款を改正する意図を持つ立法案。

決議案-検討するようR I 理事会に要請する立法案。

2550地区は、3つの共同提案 (07-20・07-36・07-109) をしています。



ガバナーノミニー確定宣言

ガバナー 落合 雅雄

2009～10年度ガバナーノミニー候補者の推薦を、2006～07年度ガバナー月信第7号で公示いたしましたが、2007年3月1日の締め切りまでに候補者の推薦はありませんでした。地区ガバナー指名委員会は、R I 細則13条20節により宇都宮西ロータリークラブ会員 森 玄房君を指名いたしました。よって森 玄房君を「2009～10年度地区ガバナーノミニー」として正式に確定いたしましたことをここに宣言いたします。



氏 名：森 玄 房 (もり はるのぶ)
 所 属：宇都宮西ロータリークラブ
 生年月日：昭和18年10月11日
 現 住 所：〒320-0043 宇都宮市桜4-5-2
 T E L (028) 624-5729 F A X (028) 624-5729

(学歴略歴)

昭和43年3月 東京医科大学卒業
 昭和47年9月 精神保健指定医

(職歴略歴)

昭和44年1月 東京医科大学精神科入局
 昭和44年6月 同大学助手
 昭和50年4月 医療法人生々堂厚生会森病院勤務
 昭和53年10月 同病院院長
 昭和58年7月 同病院理事長

(ロータリー歴)

1978年3月 宇都宮西ロータリークラブ入会
 2000～01年 宇都宮西ロータリークラブ会長
 2000～05年 R I D2550 地区親善野球大会会長
 2003～06年 R I D2550 地区幹事

(団体歴)

昭和63年～平成15年6月 栃木県地方精神保健福祉審議会委員
 平成8年4月～ 宇都宮市保健所精神保健クリニック担当医師
 平成12年7月～ 財団法人栃木県精神衛生協会副会長
 平成13年3月～ 栃木県保健福祉協議会委員
 平成16年4月～ 宇都宮市保健所嘱託医
 平成17年7月～ 栃木県被害者支援連絡協議会会長

(表彰歴)

平成6年9月 栃木県公衆衛生大会大会長表彰
 平成11年9月 栃木県知事表彰
 平成13年11月 厚生労働大臣表彰受賞

(ロータリー表彰歴)

M P H F 5、ベネファクター、第6回米山功労者

物 故 会 員

謹んで哀悼の意を表し
 ご冥福をお祈り申し上げます



いし げ ひろ とし
石 下 紘 年 (65才)
 (宇都宮東R.C.)

マルチプル・ポールハリスフェロー

物故 平成18年1月4日



や ぐち まこ と
矢 口 真 哉 (73才)
 (壬生R.C.)

1999年～2000年 国際奉仕委員長
 1998年～1999年 ロータリー財団委員長
 2000年～2001年 社会奉仕委員長
 2001年～2002年 クラブ委員長
 マルチポールハリスフェロー2
 米山功労者

物故 平成19年1月17日



ふく だ くに お
福 田 一 穂 (79才)
 (宇都宮R.C.)

1986年～1987年 社会奉仕委員長
 1989年～1990年 米山記念奨学会委員長
 1993年～1994年 職業奉仕委員長
 2001年～2002年 クラブ史編集委員長
 ロータリー財団 1091.91ドル (PHF)
 米山記念奨学会 370,000円
 米山功労者

物故 平成19年3月3日



いし ばし まさ ゆき
石橋 正行
(宇都宮陽南R.C.)

(有)石岡建設
代表取締役



クラブ活動に積極的に参加し、奉仕活動
を行いたいと思います。



かさ むら たか お
笠村 隆男
(真岡R.C.)

(有)笠村自動車整備工場
取締役



樋 口 信 之
(真岡R.C.)

樋口鋼材株
専務取締役



お ぐら とし あき
小倉 俊昭
(真岡R.C.)

(有)アサヒ看板店
代表取締役



こ ばやし み の る
小林 稔
(栃木西R.C.)

小林電気管理事務所
代表



い ま い ひ で あ き
今井 秀明
(足利R.C.)

J T B 関東足利支店
支店長



以前13年間足利に勤務し、再び戻って参
りました。ご指導よろしくお願ひします。



えび はら か ず お
蝦原 一男
(栗野西方R.C.)

栗野合同運輸株
代表取締役



かぶら き ま さ と
蕪木 正人
(氏家R.C.)

(有)マツザキヤ
代表取締役



減多な事では怒らない。



しの ぎき たか ゆき
篠崎 隆行
(真岡R.C.)

(株)ハクホー
代表取締役

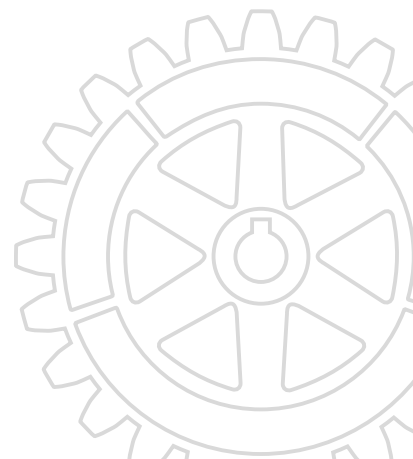


い な み きょう じ
稲見 京二
(宇都宮東R.C.)

三高物産株



微力ではありますが、いささかなりとも
お役に立てればと思っております。



2006～2007年度 地区主要行事予定

2007年

 地区外行事

月	日	曜日	行 事	場 所	
5	12日	土	R I 会長代理歓迎晩餐会	宇都宮	宇都宮グランドホテル
	13日	日	地区大会	栃 木	栃木市文化会館
6	9日	土	国際親善奨学生選考試験	宇都宮	ホテルニューイタヤ
	17-20日	日-水	国際大会	米 国	ソルトレークシティ


文庫通信 (235号)

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「最近のロータリアン・ロータリークラブの著書から」

- ◎「ロータリーの心と原点 基本に返ろう」
 廣畑富雄 2006 171p [申込先：(株)エムケイスペース FAX (092)737-9557]

- ◎「道徳と資本」
 佐藤千壽 D.2580 D.2760 2006 78p [申込先：D.2580 FAX (03)3538-0212]

- ◎「物語 職業奉仕」
 菅 正明 2006 205p [申込先：戸畑東RC FAX (093)871-8540]

- ◎「続・ロータリー情報の広場」
 東京世田谷南RC 2006 61p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]

- ◎「ロータリーと論語」
 太田南RC 2006 98p [申込先：太田南RC FAX (0276)45-0530]

- ◎「ロータリーへようこそ 新会員オリエンテーション」
 D.2650 2006 27p [申込先：ロータリー文庫(コピー)]

- ◎「東京ロータリークラブ カンボジア地雷除去活動視察団報告書」
 東京RC 2006 49p [申込先：東京RC FAX (03)3201-3413]

- ◎「外国人による日本語弁論大会報告書」
 高知山西南RC 2006 44p [申込先：ロータリー文庫(コピー/PDF)]


ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F

TEL (03)3433-6456 FAX (03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

国際ロータリー第2550地区3月会員増強・出席報告

区分	クラブ名	出席率		会 員 数								
		例会数	今月	平均	7月1日	今月	入会	退会	通算増	通算減	増減	内女性会員
第一グループ	大田原	4	87.20	90.32	47	49	0	0	4	2	2	1
	黒磯	3	97.30	98.48	44	46	0	0	4	2	2	2
	西那須野	4	95.83	97.19	49	54	1	0	5	0	5	0
	黒羽	5	94.29	94.61	22	20	0	1	0	2	-2	0
	那須	4	82.29	85.63	24	24	0	0	3	3	0	2
	塩原	4	69.20	75.92	13	11	0	0	0	2	-2	0
	大田原中央	3	71.60	77.01	21	20	0	1	0	1	-1	0
第二グループ	烏山	4	88.88	92.26	17	18	0	0	1	0	1	1
	氏家	5	83.87	84.87	36	35	1	0	1	2	-1	0
	矢板	4	76.65	85.41	38	36	0	0	0	2	-2	6
	馬頭小川	3	95.60	92.76	23	23	0	0	0	0	0	0
	高根沢	3	80.00	83.82	17	17	0	0	0	0	0	1
第三グループA	宇都宮	4	70.00	73.00	101	98	0	4	10	13	-3	0
	宇都宮西	5	81.53	91.53	60	64	0	0	6	2	4	0
	宇都宮北	5	77.13	78.03	57	57	0	0	0	0	0	0
	宇都宮90	4	90.70	89.59	44	43	0	0	2	3	-1	5
	宇都宮陽北	3	86.50	80.54	35	36	0	1	3	2	1	6
第三グループB	宇都宮東	4	91.75	92.78	104	103	0	0	3	4	-1	0
	宇都宮南	3	78.51	80.15	49	50	0	0	2	1	1	0
	宇都宮陽東	3	84.39	84.55	41	44	0	0	3	0	3	1
	宇都宮陽南	6	91.20	90.39	19	20	0	0	1	0	1	4
第四グループ	真岡	5	80.54	83.29	40	42	1	0	6	4	2	0
	益子	3	93.10	91.32	44	41	0	0	0	3	-3	0
	真岡西	4	91.28	92.45	45	45	0	0	1	1	0	8
	しもつけ	3	89.99	88.03	29	30	0	0	1	0	1	8
第五グループ	小山	3	90.00	89.52	47	50	0	0	3	0	3	0
	小山南	4	89.29	94.59	20	22	1	0	3	1	2	2
	小山東	5	91.61	90.78	42	42	0	0	0	0	0	0
	小山北	3	90.32	82.95	29	32	0	0	3	0	3	0
	小山中央	4	74.00	74.78	27	27	0	0	0	0	0	1
第六グループ	栃木	3	81.80	77.63	55	55	0	0	1	1	0	0
	栃木西	4	92.10	86.82	43	45	1	0	2	0	2	2
	壬生	3	90.00	92.00	19	19	0	0	2	2	0	2
	栃木南	4	87.40	87.47	36	33	0	2	0	3	-3	4
第七グループ	日光	4	58.33	73.60	31	30	0	0	0	1	-1	3
	鹿沼	5	89.24	89.27	70	73	0	1	4	1	3	1
	今市	3	91.11	90.87	46	45	0	0	0	1	-1	0
	鹿沼東	3	87.22	91.13	47	46	0	0	1	2	-1	2
	栗野西方	5	93.74	96.19	17	16	0	0	1	2	-1	1
	鹿沼中央	4	88.33	88.09	31	30	0	1	0	1	-1	1
	今市きぬ	4	91.67	92.59	30	30	0	0	0	0	0	1
第八グループ	足利	4	84.38	84.29	49	47	0	1	3	5	-2	0
	足利東	4	78.40	76.97	61	63	0	0	2	0	2	7
	足利西	5	76.65	77.04	15	15	0	0	0	0	0	0
	足利わたらせ	5	91.43	93.05	26	29	0	0	3	0	3	0
第九グループ	佐野	3	87.00	87.52	59	59	0	1	3	3	0	0
	葛生	4	88.20	89.59	36	36	0	0	1	1	0	0
	田沼	5	92.09	93.13	40	43	0	0	4	1	3	0
	佐野東	3	81.94	84.32	23	24	0	0	2	1	1	0
	岩舟	4	79.50	81.06	30	27	0	1	0	3	-3	1
50RC			85.50	86.78	1948	1964	5	14	94	78	16	73

お知らせ

◎能登半島地震災害義援金 1,292,595円をD2610地区に
送金いたしました。ご協力ありがとうございました。

